

量子コンピュータ 最小限の回路で 高速計算可能に

古澤明教授（工学系研究科）らは、量子コンピュータで効率的に大規模な高速計算ができる方式を発明した。成果は9月21日付の米科学誌『フィジカル・レビュー・レターズ』（電子版）に掲載された。

古澤明教授（工学系研究科）らは、量子コンピュータで効率的に大規模な高速計算ができる方式を発明した。成果は9月21日付の米科学誌『フィジカル・レビュー・レターズ』（電子版）に掲載された。

古澤教授らは今回、ルーブリックの一つの光回路で計算を繰り返す新手法を考案。複雑な大規模計算も最小限の光回路で行える上、光パルスを無駄なく使え少ないスペースと光学部品で大規模な計算が可能となる。今後は計算精度の向上などを進め、実用化を目指す。

東京大学新聞2017年10月10日付1面